

- ▶第8回中堅教員リトリート (2面)
- ▶教員リフレッシュ研修 (〃)
- ▶キリスト教教育者物語 (2・4面)
- ▶各地区の夏期行事報告 (3面)
- ▶第7回全国事務局長・事務長会議 (4面)
- ▶公募、行事予定 (〃)

キリスト教学校教育 10

2020・2021年度教研テーマ
キリスト教学校の使命と可能性—いのちの尊さと平和を求めて—

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 廉太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

第63回学校代表者協議会

11月6日(土) (学)フェリス女学院より配信



フェリス女学院山手キャンパス
カイパー記念講堂ステンドグラス

主題 コロナ時代と キリスト教学校

第63回学校代表者協議会(宮城学院女学院長、好氏)は、来る11月6日(土)10時から15時20分、中道基夫氏(関西学院大)の発題、(土)10時から15時20分、学神学部教授)の発題、まで、学校法人フェリス女学院山手キャンパスを、さらに発題者2氏と西原廉太教育同盟理事長(立配信元としてオンライン)の鼎談が行われる予定である。

今回の主題は「コロナ時代とキリスト教学校」から、開会礼拝に続いて教育同盟および会場校の挨拶があり、その後、鈴木佳秀氏(フェリス女学院)の報告(デジタルコンテンツ他)、午後は嶋田順



緑園キャンパス

1870年、アメリカ改革派教会(RCA)から派遣された宣教師メアリー・E・キダーにより創設。日本の近代女子教育の発祥となる。校名は、キダーを支援したRCA外国伝道局のフェリス父子の名を記念するもの。関東大震災による校舎倒壊焼失、戦中の宣教師帰国、校名変更など幾多の困難に耐えながら、キリスト教の信仰に基づき、女子教育を一貫して行ってきた。現在は大学、中学校・高等学校を設置し、山手キャンパスと緑園キャンパスを擁する。2020年に創立150周年を迎え、フェリスの新しい教育のビジョンと未来に向けての使命と決意を「ミッションステートメント」として表明し、その実現に向けて自己変革に取り組んでいる。

76年前の敗戦から、日本の学校教育は、日本国憲法に則り、日本国と国際社会の発展に貢献する人へと生徒・学生が成長するように寄与することを目指しています。特徴的なことは、明治憲法下の教育勅語による天皇への忠誠精神の基盤であった国家神道の影響排除のため、宗教教育は公立学校では禁止されていること(憲法20条3項)です。そこで、義務教育の9年間、勉強や学問に宗教が無縁な雰囲気、学校文化に浸り、そのまま変わらぬに、高校、大学へと進学して就職するという人が多いと思えます。

ガバナンス改革は、税金による補助金増額傾向を背景に、ステークホルダーである国民利益の保護強化のため、内閣に国会のチェックが機能する。その具現化となると、

ガバナンス改革に当たり キリスト教精神の 理解の普及を共に



古川 敬康

民主的チェックの強化には、バランス的に、「縦軸」たる建学の精神による事業的特色の強化が考えられます。その具現化となると、

と多少でも関係をもっている人の比率が減少傾向にある中、そのような人が揃う状況が年々厳しくなっていること。背景には、ご周知のように、教会での少子化とキリスト者の高齢化があります。ことに採用では、教育の質保証の観点から資格や経験、知見等が必要とされる事情が絡んでいます。

この状況下での喫緊な課題には、理事や評議員の役割を担う人々を広く社会に求めることに加え、キリスト教学校が自ら、これらを支える者へと人々が成長するよう仕組みがあるように思われます。具体的には、

北星学園理事長・学園長、教育同盟理事

主の御使いはもう一度戻って来てエリヤに触れ、「起きて食べよ。この旅は長く、あなたには耐え難いからだ」と言った。(列王記上19章7節)

何気ない言葉に見えますが、実は大きな励ましです。預言者エリヤは、バアルの預言者たちに対して劇的な勝利を取ります。しかし、王妃イゼベルに命を狙われていると聞くと絶望し、荒野に逃れると、「主よ、もう十分です。私の命を取って下さい」と叫びます。眠り込んだ彼に天使が現れ、二回にわたって彼にパン菓子と水を与えました。

ここから、神がエリヤの疲労と痛みを理解し、受けとめていることが伝わってきます。一度目の食事を終えると、エリヤは「また横になった」とあります。「もうイヤだ。何もしたくない」という思いと、「神は私を見捨てていない」という希望が、心中でぶつかり合っていたのでしょう。神はそれをもよしとします。

二回目の食事の時には、「この旅は長く、あなたには耐え難い」との言葉が与えられます。エリヤには、生き続ける使命があるのです。「その道のりは苦しいもの

聖書のことば



栗原 健

だ。だが、あなたにはそれが出来る。だから今はしっかり食べなさい」という語りかけが聞こえるようです。力を得た彼は長旅の末にホレブ山に着き、神の意を聞くこととなります。

この言葉を読む時、私たちは生徒・学生たちのことを思わざるを得ません。彼らがいる状態は、正に「この旅は長く、あなたには耐え難い」と言えます。新型コロナウイルス禍のために、望んでいたような学校生活を送ることができず、先が見えないまま社会に出なくては行かない。その社会では格差が拡大し、人々は分断されているがみ合っている。「もうイヤだ」と思っても当然です。

そのような時に、「つらいよ。だから今しっかり食べよう」と言えるのがキリスト教校ではないでしょうか。彼らが体の糧としての食に不自由していないか、気を配ると同時に、み言葉という霊的な糧を味わい、生産性や他者との比較に惑わされない価値観・視点から自分自身、社会の姿を考えられるようにする。今ほどこのことが重要になっている時はないはず。教育の真価が問われています。

〈宮城学院女子大学宗教センター長〉

第8回中堅教員リトリート

主題

キリスト教学校の 中堅教師として

— 今、切実に求められていること —

全国的なコロナ禍の 等学校教諭が奨励を
中、去る8月4日(水) 下さいました。先生
に第8回中堅教員リトリートは、トモモロコシは受粉
ート(節目研修)がオン の関係で多数で生育しな
ラインで開催されまし いと成長できないという
た。今回は、講師1名、 ことを紹介して下さり、
実行委員6名を含め17名 キリスト教学校こそトウ
(小中高)の参加でし モロコシ畑のように命が
た。

昨年は新型コロナウィル
ルス感染拡大のため、こ
の会は中止となりました
が2年連続の中止は何と
しても避けたいと思いま
す。

発題は大橋邦一先生
から、1日だけではあり
ましたがオンラインで開
催をいたしました。この
ような形は初めての試み
として下さいました。午
前なので、実行委員の議
もオンラインで行い、ま
たメールで互いに情報交
換を密にしながら準備を
進め、なんとか開催にこ
ぎつけることができました
。結果、少人数の参加
となりましたが、進行も
スムーズで密度の高い研
修ができたと思います。

今年度の主題は「キリス
ト教学校の中堅教師と
して— 今、切実に求め
られていること —」とし
て、今年、切実に求めら
れていることと、社会を捉
え、開会礼拝では浅利慎
直先生(北星学園女子中
学校・高等学校校長)が
賛美歌の斉唱をリードし
て下さり、平松讓二先生
(同志社女子中学校・高
下さいまし)

た。午後の発題では、ル
カによる福音書10章25節
〜37節を中心としなが
ら、章全体をつらぬく主
張(教え)について語っ
て下さり、最後はキリス
ト教学校の中堅教員に必
要なことをまとめて述べ
て下さいました。

この研修会では、大橋
先生より黙想の持ち方に
ついてご教示いただき、
参加者はそれぞれの場所
で黙想の時間を午前と午
後に1回ずつ持ちまし
た。

また、研修最後の1時
間ほどは4つのグルー
プに分かれての懇談会(お
茶・お菓子付き)と全体
会を持ちました。懇談会
は、各グループ4人の構
成だったので、十分な時
間が取れなかったにもか
かわらず、どのグループ
も内容の濃い懇談や討議
ができました。

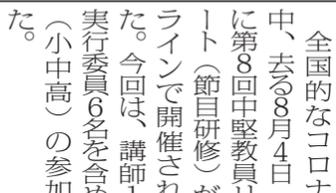
今回が対面での研修で
なかっただけに、参加さ
れた諸先生方は、来年こ
そは例年通りの研修会に
参加して、画面を通して
お会いしたお一人おひと
りと実際に会いお話をし
たいという思いを強くされ
たようです。

一日も早くコロナ禍が
終息し、今までもおりの
研修会が開かれることを
切望いたしますが、一方
で今回のオンラインでの
開催は、次年度以降がど
のような状況になろうと
も中堅教員リトリートを
開催することができる道
を開いたと言えるでしょ
う。

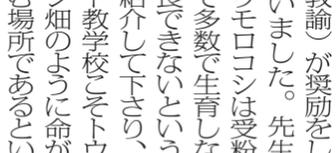
講師を引き受けて下さ
りました大橋先生、ご参
りいただきました先生方
に心より感謝し、主の豊
かな祝福がありますよう
お祈りいたします。

村瀬 泉
トリート実行委員

〈西南女学院中学校・高
等学校校長、中堅教員リ
トリート実行委員〉



グループ懇談用に送付された茶菓



グループ懇談用に送付された茶菓

教員リフレッシュ研修

主題

立ち止まって 見つめ直そう

教育同盟教育者支援会
開催となった。はたして
ネットワーク推進委員会
(長谷川洋一委員長)が
中心となって準備を進め
ていた「教員リフレッシ
ュ研修」が「立ち止まっ
て見つめ直そう」との主
題の下、8月16日、オン
ラインの形態で開催され
た。洞川温泉(奈良県天
川村)での宿泊研修を想
定していたが、感染症の
状況に鑑み、オンライン

開催となった。はたして
ネットワーク推進委員会
(長谷川洋一委員長)が
中心となって準備を進め
ていた「教員リフレッシ
ュ研修」が「立ち止まっ
て見つめ直そう」との主
題の下、8月16日、オン
ラインの形態で開催され
た。洞川温泉(奈良県天
川村)での宿泊研修を想
定していたが、感染症の
状況に鑑み、オンライン

に心より感謝し、主の豊
かな祝福がありますよう
お祈りいたします。

村瀬 泉
トリート実行委員

〈西南女学院中学校・高
等学校校長、中堅教員リ
トリート実行委員〉

た。水口先生は①で自身
の生い立ち、②ミッシヨ
ンスクールに赴任して、
③キャリアを重ねる中
で、④教師としての成熟
とは、とご自身の経験・
体験を基に、失敗・困り
経験などが今の自分を形
作っているという確信を
その重要であり、「子ども
の内側にある光への気
づき」「心を動かす経
験」「有限の時間軸の中
での自分のミッションと
は？」など、参加者にや
さしく語りかけつつ、問

その後、2グループに
分かれ、1時間ほどグル
ープトークの時を持っ
た。基本的にはフリー
クの時ではあったが、テ
ーマも「対保護者」「対
同僚」、教科についてな
ど多岐にわたる。この時
間は短く感じられ、「ま
だまだ話足りない」と交
流で多くの学びを得た
と思うほど、水口先生の
発言に「なごさまであ
るに触発され、参加者が
思いを語り、またその思
いを聴く時となった。こ
のグループトークの時
こそ、本研修が最も重要
視ると共に、やはりこの
時を通じて、「悩みを言
える」「弱さを見せ合
う」「困った」を共有で
きる」「関係性が今の
現場では必要であると改
めて思わされた。

最後に、チューターの
二宮一美先生(関西学院
高中部カウンスラー)よ
り「まとめ」として、現
在を「せひ宿泊で研修
代の児童・生徒・保護者
を取り巻く状況について
の解説の後、「一人ひと
りの児童・生徒の成長
瞬間を見てほしい」「言
葉や意味を大切に」「こ
ういう形の研修は同盟
ならではのコメント」

川俣 茂
〈清教学園中学校宗教主
事〉

一般社団法人キリスト教学校教育同盟 「エラーニング」による 教員免許状更新講習について

いつでも、どこでもインターネットで受講が
可能です。
・キリスト教学校教育を主台とした講座です。
・21年度申込受付は2月16日〜22年3月30日



詳細は教育同盟ホーム
ページQRコードより
ご覧ください。

キリスト教教育者 物語

86

関東学院初代学院長 坂田 祐

一高等学校を経て東京帝国大
学を卒業。一高時代に新渡戸
稲造校長の薫陶を受け、また
内村鑑三門下に入ることを許
され、南原繁らとともに内村
から聖書学を学んだ。

1919年、新設の中学関
東学院の学院長となり、「わ
が関東学院の建学の精神はキ
リストの教訓によって人にな
り、キリストの愛の精神を体
得して隣人に奉仕するように
訓練することである」と述
べ、「人になれ奉仕せよ」を
校訓として訓示。とりわけ太
平洋戦争中、軍の圧迫に抗し
て関東学院のキリスト教教育
を守ったことは特筆すべき点
である。伝道者としてキリス
ト教教育者として92歳で天に
召されるまで関東学院の発展
を日々祈り、50年にわたって
学院のキリスト教教育に尽く
した坂田の生涯はまさに「恩
寵の生涯」であった。

豊川 慎
〈関東学院大学宗教主事〉



1930年(昭5)年
52歳 高等商業部卒業記念



1960年(昭35)年
82歳

各地区の夏期行事

関西地区

自分らしく生きるために

第63回夏期研修会



平良愛香氏の講演

日時＝8月4日(水)
場所＝京都カーペンパレス
なおよびオンライン

相澤弘典実行委員長による開会礼拝の奨励、「神が出会わせた人」

「自分が生きていく人生を生き方を探してその人生を生きていく」ということは、LGBTの人権の問題として語られることが多いが、実は全ての人の人権の問題。「生きづらさ」と「気付いたときに、では自分はどう生きようか?そして一人一人が生きやすい社会にどのような変えていくのか?と考える。LGBTについて学ぶことは、自分について学ぶこと。ここにキリスト教教育で性の多様性を教える意味があると述べられた。

また御自分の自己紹介を含め「自分らしく生きるため」の五段階のカミ

によって、人は変わることであり、差別を乗り越えることができる。その性差を克服できないから差別は克服できないハイブリッド形式での開催となった。(参加者31人・会場18人、オンライン13人)

講師は「平和を実現するキリスト教者」及び「キリスト教の風(セクシュアル・マイノリティ・クリスチャンの集まり)学校の中で生きていく」代表で日本キリスト教団和教会牧師の平良愛香氏。「僕がゲイで良かったこと」キリスト教教育で性の多様性を教える意味」という題で講演をしていただいた。

まず、一人一人が大切にされる社会を作るために知識を得ることの必要を確かめた。「差別をしない」と多くの人が思っているが、優しさは、会場とZoomによるハイブリッド形式での開催となった。参加者の多様性を考えることは、一人一人が大切にされているかを考えること、キリスト教の「互いに愛し合う」というのはそこに存在している一人一人が大切にされること。つまり、学校の中で生きていく一人一人が生きやすい学校について考え、全ての生徒・教職員が自分の生き方を見直す経験が必要だと語られた。

「自分が生きていく人生を生き方を探してその人生を生きていく」ということは、LGBTの人権の問題として語られることが多いが、実は全ての人の人権の問題。「生きづらさ」と「気付いたときに、では自分はどう生きようか?そして一人一人が生きやすい社会にどのような変えていくのか?と考える。LGBTについて学ぶことは、自分について学ぶこと。ここにキリスト教教育で性の多様性を教える意味があると述べられた。

また御自分の自己紹介を含め「自分らしく生きるため」の五段階のカミ

ンクアウトについても説明していただきました。第一段階は「このままでは辛く生きていけない!」という SOS からのカミングアウト、第二段階は「他者に嘘をつかなくていい」というところからカミングアウト、第三段階は「社会に差別しないでくれと訴えるため」のカミングアウト、第四段階は「全国にいる孤独な人を助けるため」のカミングアウト、第五段階は「性の多様性を皆に気づいてもらうためのカミングアウト。セクシュアル・マイノリティの当事者の方々は、命がけで自分を隠して理解者を探し、カミングアウトすることで新しい関係性が

関東地区

キリスト教学校の教師として

第63回新任教師研修会

8月6日(金)午前9時～12時50分まで、第63回関東地区新任教師研修会をオンラインで開催しました。参加者は120名(新任者100名、講師・発題者3名、運営委員7名)。コロナ禍により昨年第62回は中止となり、本研修会が始まって以来、オンライン開催となりました。総司会は松村誠先生(青山学院横浜英和中学校・高等学校)が務めスムーズに進行し、開会礼拝を伊藤多香子先生(関東学院六浦中

生まれ、自分にも他者に嘘をつかずに自分らしく生きることを目指す。閉会の時には刀祢館実行委員が「ヘブライ語の『善』と『悪』」と『善』と『悪』など両極端の二つを並べることでその間を含まない全体を表すが、創世記1章27節の『男と女』も男と女だけではなく様々な違いを持った一人一人を神が大切に作ってくれたと理解できる。」と語って閉会祈祷された。

誰もが自分らしく生きることを目指す平和な社



団を行いました。各自がお互いの顔を見ながら主

共有していただき、児童から学び教えられる姿勢を示されました。

参加者からは、教師は完璧を求められることが多いが、自然体の自分でも、様々な角度から理解していく必要がある事を示されました。

その後は「私の経験」と題して2名の先生からお話を頂きました。

1. 高野慎太郎先生(自由学園高等学校)は、ご自身の体験や学びの経験から、若手の立場でも周囲の目や失敗を怖れることなくチャレンジしていくことが大切であること、更には「中動態」という考え方や、困難な時にこそ神様の召命を受け止め進んでいきたいと話されました。

2. 佐藤重人先生(平和学園小学校)は、一学年一クラスの小さな学校だからこそ起きる課題や喜びの発見と共に、新任時の色んな失敗談を誠実に

開会礼拝は、楊尚眞感、慰め、奉仕、納得同が高く弘前学院の前身である弘前女学校の新講堂の根底にあるべき精神と支援をした。本多庸一はキリスト教の愛の心であると強調した。

第二部の司会者である日高嘉彦氏(北星学園大学)の協力が弘前学院大学の創立と発展のルーツであることを述べた。最後に、地区理事の古川敬康氏(北星学園理事長・学園長)の挨拶をもって会

今年度の大学部会が例年の大学部会とは異なっ

今年度の大学部会が例年の大学部会とは異なっ

東北 北海道地区

キリスト教学校の使命と可能性

地区教育研究会 大学部会

2021年度の東北・北海道地区教育研究会大学部会、参加者32名によるオンラインで開催された。今年度の開催当番校は弘前学院大学であり、オンライン開催場は弘前学院大学礼拝堂であった。

8月26日

開会礼拝は、楊尚眞感、慰め、奉仕、納得同が高く弘前学院の前身である弘前女学校の新講堂の根底にあるべき精神と支援をした。本多庸一はキリスト教の愛の心であると強調した。

第二部の司会者である日高嘉彦氏(北星学園大学)の協力が弘前学院大学の創立と発展のルーツであることを述べた。最後に、地区理事の古川敬康氏(北星学園理事長・学園長)の挨拶をもって会

今年度の大学部会が例年の大学部会とは異なっ

今年度の大学部会が例年の大学部会とは異なっ



配信会場の弘前学院大学礼拝堂

